

中小企業振興円卓会議 専門部会事業計画書

【代表団体名称】	愛媛県中小企業家同友会
活動テーマ	ええ会社づくり ・ ええ人育て ・ ええお客づくり
活動名	中小企業をとりまく経営環境改善に向けた推進・検証等の活動
活動趣旨（本市の中小企業の現状、課題等）	<p>中小企業はすぐれた製品やサービスを提供し、人々の暮らしの向上と地域経済の繁栄を保障するという社会的使命を負っている。地域と深いかかわりを持つ中小企業の発展は、雇用の創造の面でも、個性ある地域づくりの点でも大きな役割を果たしており、それだけに社会的責任も大きいものがあり、この社会的使命感と責任感こそ企業は大切にすべきものと考えている。</p> <p>地域経済の牽引役ともいえる中小企業が成長し、健全な経営を行っていくためには、学生に対しても生きがい働きがいを提示できる魅力ある企業づくり、採用した若い社員が育つ風土づくり、地域における中小企業への理解の促進、学校や父母との連携による地域全体の教育の推進をしていく必要があると考える。</p> <p>そこで、松山市においても、健全な中小企業者を多く育成していく為に、教育機関や大企業との連携により、学生に対する職場体験の実施や中小企業が地域経済において担う重要な役割に対する理解など推進していく活動が必要と考えている。</p> <p>また、推進活動を行う中で、地域がもつ課題や改善策について調査・検証等を行い、より効果的な施策に繋がる事業提案等を行っていききたい。</p>
活動の項目	<p>条例の推進活動 条例第4条（基本方針）（3）「人材の確保、育成、定着」 （9）「関係機関との連携」に該当</p> <p>調査・検証活動</p>
活動内容（条例の推進活動、本市の実態や効果的な施策に関する調査・検証等）	<p>【条例の推進活動】</p> <p>1. 「キャリア教育の手引書」の円卓会議版の発行と普及 ・愛媛同友会では、1994年以降、小中学校とは職場体験学習や出前講座、大学とはインターンシップや提供講座を実施し、「職場」の持つ教育力を認識してきた。その教育力とは、地域子どもたちを「世の中捨てたものではない」と言える大人に育てる力であり、中小企業で働く大人が子どもたちの「あこがれの存在」となるよう自律していく力である。この実践から至った到達点を円卓会議版「キャリア教育の手引書」としてまとめ、学校現場や地域の啓発活動に役立てたい。</p> <p>2. 松山大学、聖カタリナ大学、東雲大学において提供講座の開設準備に着手する。 ・提供講座は、学生が経営者の生の声を聴くことで、日本経済の仕組みと中小企業の全体像（歴史、魅力、役割、強み、弱み）を理解してもらい、中小企業の未来を担う人材をつくることを目的とする。愛媛同友会では、2007年度から愛媛大学において提供講座を実施してきた。それを他の3大学に広げる準備に着手したい。</p> <p>【調査・検証活動】</p> <p>1. 「職場体験等受入企業マップ」及び「障がい児・者職場実習受入企業マップ」の作成 ・職場体験学習等のキャリア教育（障がい児の実習を含む）を担える中小企業は、「生き方や経営理念」、「ものづくりへのこだわり」、「仕事に対する誇りや達成感」を伝えられる企業でなければならない。そういった企業のデータベースとして「職場体験等受入企業マップ」及び「障がい児職場実習受入企業マップ」を作りたい。 ・同時に作成した「企業マップ」を松山市のホームページに掲載することで、「キャリア教育に熱心な企業」「障がい児のキャリア教育に熱心な企業」として顕彰してその存在を地域にアピールしていくことができる。</p>
構成メンバー（予定）	愛媛同友会、愛媛県若年者就職支援センター、愛媛大学、松山大学、聖カタリナ大学、東雲大学
事業期間	平成27年 5月 1日 ～ 平成28年 3月 31日
【事業に要する経費】	40万円
備考	

中小企業振興円卓会議 専門部会事業予算書

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	摘 要
活動費	400,000	松山市補助金
合 計	400,000	

2. 支出の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	摘 要
印刷製本費	400,000	「円卓会議版キャリア教育の手引書」の作成費
合 計	400,000	